



SINCE 1987

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL

Affiliated With

TOKYO INTERNATIONAL UNIVERSITY

School Guide



東京国際大学 附属 日本語学校

理事長・総長からのご挨拶



日本語は世界の言語

「東京国際大学付属日本語学校」には、世界の国々から、多くの若者が集い、社会のしくみ、日本人の習慣などを交えた、総合的な日本語教育を受けています。

東京国際大学付属日本語学校の特徴は、学校名が示すように、大学に直結した教育機関としても有名です。

従って、この日本語学校に学ぶ学生は、東京国際大学に在籍している母国からの留学生との交流によって、日本の大学、大学院、専門学校などの情報を、直接交換することが可能です。

日本は、国際社会の中でも、経済、教育、文化、科学技術、医療など、あらゆる分野にわたり、先進国として世界に貢献しています。

皆さんの将来は、日本語を学び、習得されることによって、世界に活躍の場が広がります。この機会に、東京国際大学付属日本語学校において、国際社会に活用できる日本語能力を磨いて戴くことを期待しております。

学校法人 東京国際大学 理事長・総長
倉田 信靖

校長からのご挨拶

将来の夢の実現に向けて

本校は1987年に東京国際大学の付属校として開校されました。充実した日本語教育を行うカリキュラムを編成し、開校以来、大学院・大学への進学に強い日本語学校として国内外から高い評価を得てまいりました。

留学は新しい自分へと挑戦する第一歩です。様々な文化的、社会的背景をもつ人々と交流することは、語学や専門知識の習得だけでなく、その国や人々への理解を深める大きなチャンスでもあります。

皆さんの来日目的を果たすため、本校スタッフは、日常生活全般にわたる個別指導やきめ細かな進路指導を行い、皆さんの進路を全面的にバックアップいたします。

日本への留学が皆さんの将来の夢の実現に向けて大きなステップとなり、世界で活躍される人材に育ってくださることを願っております。

東京国際大学付属日本語学校 校長
倉田 静佳



INDEX

01	理事長・総長、校長からのご挨拶
02	学校概要／教育理念／アクセス
03-04	本校の強み
05-06	コース紹介／到達目標
07-08	課程概要
09-10	進路支援／合格実績

11-12	東京国際大学特別推薦
13	行事／クラブ活動
14	キャンパス設備／日本での暮らし
15	募集要項
16	出願書類
17-18	学費

東京国際大学付属の 歴史ある日本語学校

学校法人を母体とする大学付属の日本語学校として長い歴史を持つ本校は、数ある日本語学校の中でも信頼性の高い教育機関です。

母体である東京国際大学は、約1,800人の留学生を受け入れる全国トップクラスの国際性を誇り、その交流で培ったノウハウをもとに本校が開校されました。

本校の授業は大学院・大学・短大・専門学校の入試に対応し、多様な学習ニーズに応える柔軟なカリキュラムを編成しています。日本語学習と進学・就職に向けた試験対策を効果的に組み合わせることで、学生一人ひとりの目標達成を力強くサポートし、それぞれの留学目的の実現につなげています。

日本留学には不安もあると思いますが、本校での学びを通して安心して目標達成を目指すことができます。ぜひ私たちと共に学び、夢を実現しましょう。



基本理念

公德心を体した真の国際人の養成

目的

多様な文化を尊重する共生社会の実現に資するため、学生が広く日本の文化や習慣等に対する理解を深め、人格を陶冶し、もって国際社会の平和及び発展に寄与できる人材として成長できるよう、公德心を体した真の国際人を養成すること。

目標

CEFRの
B2(JLPTのN2相当)の
日本語能力の獲得

希望する進路への
進学並びに就職

日本社会への
適応力を養う

日本文化を深く理解し、
尊重する心を育む

学校概要

設置者名称	学校法人 東京国際大学 理事長・総長 倉田 信靖	開校年	1987年4月1日
設置者住所	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-23-23	学校住所	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-23-23
学校名	東京国際大学付属日本語学校	電話番号	03-3371-6121（代表）
校長	倉田 静佳		

ACCESS アクセス

アクセス抜群！

高田馬場駅戸山口から

徒歩4分

最寄駅の高田馬場駅はJR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線の3つの路線が利用できます。

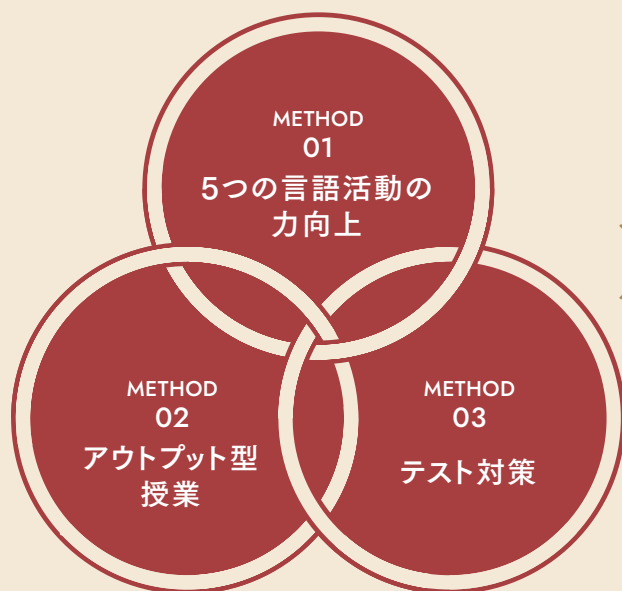


東京国際大学付属校としての確かな教育体制を基盤に、実践重視の日本語教育を展開。

試験対策や推薦制度、きめ細やかな学習サポートに加え、都心ならではの学習環境などを通して、学生一人ひとりの目標達成を支えます。

STRONG POINTS

本校の強み

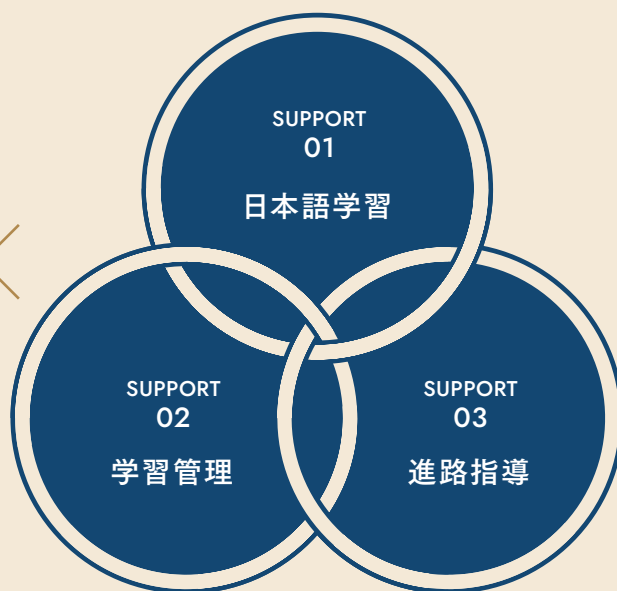


実践的な日本語教育メソッド

METHOD
01 聞く・読む・話す(やり取り)・
話す(発表)・書くの5技能を
統合的に習得

METHOD
02 発表・会話練習を重視した
アウトプット型授業

METHOD
03 JLPT・EJUなどテスト対策も
万全



教職員によるサポート体制

SUPPORT
01 一人の学生を多角的に支える徹底した
日本語学習サポート体制

SUPPORT
02 学習を自ら管理する能力の
醸成支援

SUPPORT
03 丁寧な進路指導

01



大学付属の教育機関

02



目標に合わせて学べる
充実した
日本語教育カリキュラム

03



発話を重視した
実践的な日本語授業

04



レベル別クラス編成

05



クラス担任教員による
きめ細やかなサポート

06



複数教員が同一クラスを担当。
担任をハブに教員間で連携し、
一人ひとりを
多角的・きめ細かく指導

07



試験対策を
選択授業として開講

08



多くの有名校の
推薦入学指定校

09



充実した奨学金

10



クラブ活動で日本文化を
体験できる

11



通学・旅行等で学生割引が
適用される教育機関

12



東京都心の学校、
通学便利で充実した設備

学べる5つのプログラム + 特進コース

東京国際大学付属日本語学校には目的や進路に合わせて選べる5つのプログラムと特進コースがあります。一人ひとりの目標達成を力強くサポートします。

日本語教育課程(A・B)

日本の大学・大学院・専門学校への進学、或いは日本での就職を目指す方の課程です。

1年 1年6か月 1年9か月 2年



COURSE POINT

それぞれのレベルに合わせた目標設定と指導により、他校より多い充実した学習時間でじっくり日本語を学ぶことができます。初級クラスでは、少し理解が遅れている学生に対して補習授業を実施するので日本語力に自信がなくても大丈夫です。中・上級クラスでは、日本語力を飛躍的に向上できるNIE授業を受講できます。

準備教育課程

中等教育課程修了年数が12年未満の方が日本の大学・専門学校の出願資格を得られるプログラムです。

1年 1年6か月



COURSE POINT

英語・数学・理科・総合科目などの基礎科目で構成される規定カリキュラムを修了することで、日本の大学・専門学校への出願資格を得ることができます。日本語科目は進学課程と同等のカリキュラムです。

※ NIE(Newspaper in education) とは、新聞を教材として活用した授業です。

+ 特進コースは東京国際大学への進学の近道!

+ 特進コース (日本語教育課程(A・B)/準備教育課程)

日本語学校への入学の時点で卒業後の大学進学を見据えたコースです。



COURSE POINT

卒業後の進路が決まっているので安心して日本語の学習に専念できます。東京国際大学への受験特典・奨学金等の入学特典等が多くありますので、付属日本語学校ならではの特典を大いに活用してください。(特典の詳細は P11 をご参照ください。)

特進コースの組み合わせ方

日本語教育課程(A・B) + 特進コース

準備教育課程 + 特進コース



短期聴講制度

日本語を短期間(1か月~3か月)だけ学んでみたいという方のプログラムです。



短期体験プログラム

日本語能力ゼロレベルの初習の方を対象とした日本語体験プログラムです。詳細は学校公式サイトにて。



プライベートレッスン

受講者の希望に合わせ、マンツーマン又はグループで学ぶプログラムです。

※時期により、募集を行わない課程がございます。

入学から修了までの学習到達レベル

入学時の日本語力に応じて、A1（JLPT N5相当）から段階的に A2、B1、B2 へと到達を目指します。

初級から中級後半まで、各段階で明確な到達目標を設定し、語彙・文法・読解・聴解・会話力を総合的に育成。

修了時には JLPT N2 相当レベルまでの実践的な日本語運用能力を身につけ、進学や将来の進路に対応できる力を養います。

レベル	初級前半	初級後半	中級前半	中級後半	上級
到達目標	A1 レベル JLPT N5相当	A2 レベル JLPT N4/N3相当	B1 レベル JLPT N3/N2相当	B2 レベル JLPT N2/N1相当	C1 レベル JLPT N1以上
		1年課程	6か月	6か月～	
	1年6か月・1年9か月課程	6か月	6か月	6か月～	
2年課程	3か月	6か月	6か月	9か月～	

※開始レベルから目標レベル到達までの目安です。

※入学時に設定レベル以上の日本語力を有する人の場合は、C1レベルの到達を目指します。

学習期間と学習進度

学習期間は1年、1年6か月、1年9か月、2年課程など目的に応じて設定し、各レベルを3～6か月単位で着実に積み上げます。

週あたりの授業時間と総授業時間を十分に確保し、CEFRの到達目標（Can do）に基づいて段階的に進度を管理。

無理のないカリキュラム設計により、基礎から中級後半まで安定した学力向上を実現します。

CEFRレベル		到達目標（Can do）	1週あたりの授業時間数	期間（月数・週数）	合計授業時間数
A1	初級前半 JLPT N5相当	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、個人情報について質問をしたり答えたりできる。	日本語教育課程A 準備教育課程 26(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 20(単位)時間	3か月・10週	日本語教育課程A 準備教育課程 260(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 200(単位)時間
A2	初級後半 JLPT N4/N3相当	簡単で日常的な範囲なら、よく使われる文や表現が理解でき、情報交換に応じることができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	日本語教育課程A 準備教育課程 26(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 20(単位)時間	6か月・20週	日本語教育課程A 準備教育課程 520(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 400(単位)時間
B1	中級前半 JLPT N3/N2相当	身近な話題について、主要点を理解でき、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験・出来事・希望を説明し、意見や企画の理由、説明を短く述べることができる。	日本語教育課程A 準備教育課程 26(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 20(単位)時間	6か月・20週	日本語教育課程A 準備教育課程 520(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 400(単位)時間
B2	中級後半 JLPT N2/N1相当	具体的な話題でも抽象的な話題でも、複雑なテキストの主要な内容を理解できる。熟達した日本語話者と流暢に、また自然に会話できる。かなり広範な範囲の話題について明確で詳細なテキストを作ることができ、根拠を示しながら自己の視点を説明できる。	日本語教育課程A 準備教育課程 26(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 20(単位)時間	6か月・20週	日本語教育課程A 準備教育課程 520(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 400(単位)時間
C1	上級 JLPT N1以上	様々な種類の高度で長いテキストを理解でき、流暢に、また自然に自己表現できる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。	日本語教育課程A 準備教育課程 26(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 20(単位)時間	6か月・20週	日本語教育課程A 準備教育課程 520(単位)時間 ・ 日本語教育課程B 400(単位)時間

※記載の週数・時間数は目安です。カレンダーの都合や祝日・学校行事により変動することがあります。

課程概要 ABOUT COURSE

日本語教育課程(A・B)/準備教育課程

修学期間		1年	1年6か月	1年9か月	2年
入学時に求められる日本語レベル	漢字圏	CEFR A2(JLPT N4相当)以上の日本語レベル	CEFR A1(JLPT N5相当)以上の日本語レベル	CEFR A1(JLPT N5相当)以上の日本語レベル	CEFR A1(JLPT N5相当)以上の日本語レベル
	非漢字圏	CEFR B1(JLPT N3相当)以上の日本語レベル + 漢字650字程度習得	CEFR A2(JLPT N4相当)以上の日本語レベル + 漢字300字程度習得	CEFR A2(JLPT N4相当)以上の日本語レベル + 漢字300字程度習得	CEFR A1(JLPT N5相当)以上の日本語レベル + 漢字100字程度習得
入学時期		4月	10月	7月	4月
総学習時間		日本語教育課程A 準備教育課程※ 988時間 ・ 日本語教育課程 800時間	日本語教育課程A 準備教育課程※ 1,508時間 ・ 日本語教育課程 1,200時間	日本語教育課程A 1,716時間	日本語教育課程B 1,600時間
教育課程の到達目標		✓ 日本語能力CEFR B2(JLPT N2相当)以上 ✓ 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解できる。 ✓ お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。			

※準備教育課程は+基礎科目150時間

選択科目(試験対策講座)について

日本語学校卒業後に日本での進学や就職を目指す方には、将来の目標に合わせて選択科目(試験対策講座)の受講をおすすめします。日本語教育課程Aでは選択科目は選択必修、日本語教育課程Bでは選択制です。

EJU対策(日本語) ※EJU:日本留学試験

「記述」は書き方を学びながら、決められたテーマについて時間内に書くこと、「聴解 / 聴読解、読解」は過去問題を解きながら問題形式に慣れることを通して、目標得点を目指します。

JLPT対策 ※JLPT:日本語能力試験

各レベルの文法や語彙表現を理解し、演習問題を繰り返し解きながら問題形式に慣れることで、目標得点を目指します。

BJT対策 ※BJT:BJTビジネス日本語能力テスト

日本の就職活動事情を知り、自己分析や企業分析、履歴書の書き方など就活に必要なことを学んだり、敬語の使い方やメールの書き方などの練習を通してBJTの対策をしたり、ビジネスシーンのケーススタディーを行いながら、日本で働く準備をします。

受講料

開講時期	試験対策講座	講座回数	週あたりの授業時間数	受講料
1月～3月	EJUかJLPT対策 ※いずれか一つを選択	週2回	4時間	22,500円
4月～9月	(4月～6月)EJUかJLPT対策 ※いずれか一つを選択 (7月～9月)EJUかJLPTかBJT対策 ※いずれか一つを選択	週2回	4時間	45,000円
10月～12月	EJUかJLPTかBJT対策 ※いずれか一つを選択	週2回	4時間	22,500円

※科目選択にあたっては、適切な時期にクラス担任から説明・相談がありますので、開講前にクラス担任とよく相談のうえ決定してください。

※BJT対策授業は、7月から12月までの期間のみ開講します。

※EJU対策およびBJT対策の受講には、日本語能力B1レベル(JLPT N2相当)以上が必要です。規定の能力に満たない場合は、JLPT対策を受講していただきます。

なお、日本語能力は「聞く・読む・話す(やり取り)・話す(発表)・書く」の5技能を総合的に判断して決定します。

※選択科目の授業料は、各学期の学費とあわせて納入していただきます。

修学期間のスケジュール(日本語教育課程Bの場合)

2年課程入学				1年6か月課程入学								1年課程入学															
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
AM	1													(月)～(金)1～4時限													
	2																										
	3																										
	4										週2日:3～4時限																
PM	5	(月)～(金)5～8時限												週2日:5～6時限													
	6																										
	7																										
	8																										

時間割の例(日本語教育課程Bの場合)

必修科目 選択科目 基礎科目

1年6か月課程・2年課程の1年目

		MON	TUE	WED	THU	FRI
AM	1時限 9:30 - 10:15					
	2時限 10:15 - 11:00					
	3時限 11:15 - 12:00		1月～3月: 選択科目(週2回) EJUかJLPT対策 ※曜日・時間は科目による			
	4時限 12:00 - 12:45					
PM	5時限 13:35 - 14:20	クラス担任演習	漢字・語彙	漢字・語彙	漢字・語彙	漢字・語彙
	6時限 14:20 - 15:05	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情
	7時限 15:20 - 16:05	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	読解	作文
	8時限 16:05 - 16:50	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	読解	作文

1年課程/1年6か月・2年課程の2年目

		MON	TUE	WED	THU	FRI
AM	1時限 9:30 - 10:15	クラス担任演習	漢字・語彙	漢字・語彙	漢字・語彙	漢字・語彙
	2時限 10:15 - 11:00	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情
	3時限 11:15 - 12:00	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	読解	作文
	4時限 12:00 - 12:45	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	総合日本語 ・日本事情	読解	作文
PM	5時限 13:35 - 14:20	4月～12月: 選択科目(週2回) EJU、JLPTかBJT対策 ※曜日・時間は科目による				
	6時限 14:20 - 15:05					
	7時限 15:20 - 16:05	5月～11月: 基礎科目(週3回) 文系: 英語・総合科目・数学 理系: 英語・理科・数学 ※曜日・時間は科目による				
	8時限 16:05 - 16:50					

※「総合日本語・日本事情」は、会話・発表・聴解・文法・語彙の内容及び「日本事情」の講義40単位時間を含みます。

※上級クラスは、「総合日本語」の2コマが「NIE(Newspaper in Education)」になります。

※5月～11月開講の基礎科目は、準備教育課程履修者のみ必修科目です。なお、EJU対策として基礎科目の受講を希望する方は、オプションで受講できます。

受講料は15,000円/科目(週1回)、総合科目のみ30,000円(週2回)です。教材費は別途必要です。

※BJT対策授業は、7月から12月までの期間のみ開講します。

※理科(物理・化学・生物)のうち、受講希望者がいない科目は開講しません。

進路支援

ひとりひとりの夢の実現をサポートします



本校では、学生一人ひとりの目標や希望進路を把握し、その学生に最適なサポートを提供しています。担任教員による進路アドバイスや志望理由書などの書類確認、実践的な面接指導に加え、進路指導担当スタッフからの最新情報の提供や各種ガイダンスも行っています。さらに、事務局職員による個別の面接練習など、多角的な支援体制を整え、学生が自信を持って進路選択に臨めるよう全面的にサポートしています。

学生がいつでも使用できる進路指導室では、大学院、大学、短大、専門学校に関する各種の資料が閲覧でき、最新の受験情報を随時提供しています。また、本校の母体である東京国際大学への進学志望者向けには大学入試課職員による説明会を実施しています。なお、卒業後に就職を希望する学生に対しては、就職説明会を案内しています。



CAREER SUPPORT

進路サポート

	04 APR	05 MAY	06 JUN	07 JUL	08 AUG
進学	● 進路説明会 ● 進路アンケート実施 ● 進路ガイダンス (EJU対策授業 / 基礎科目の選択について)	● 日本留学試験(EJU)対策授業説明会 ● 進路個別面談	第1回EJU ● 進路ガイダンス実施 ● EJU模試・対策講習	第1回JLPT ● 校内進路説明会 (大学・専門学校) ● TIU進学説明会	● 指定校推薦入試説明会 (推薦基準発表) ● 進路ガイダンス (TIU推薦入試について)
	大学・専門学校のオープンキャンパスや見学会に参加				
	日本の高等教育機関(大学院・大学・専門学校)へ進学するために必要となる準備方法の説明。	日本留学試験の概要、大学ごとの試験制度とその対策について説明。	オープンキャンパス活用を試金石となる校内進路説明会参加校等についての説明。	大学や専門学校の担当者が来校し、本校学生のためだけの学校説明会を開催。	夏休み中のオープンキャンパス参加と、受験に必要な母国の「卒業証明書」「成績証明書」等の準備を促します。
就職				就活イベント ● 校内進路説明会 (進学・就職)	就活支援

	09 SEP	10 OCT	11 NOV	12-02 DEC-FEB
進学	● 出願の指導 ● 志望理由書指導	● 指定校推薦校内選考実施 ● EJU模試・対策講習	第2回EJU	第2回JLPT(12月)
	面接指導／志望理由書作成・小論文対策指導			
	出願書類の準備に関わる相談を受けたり、必要書類チェック等の対応を行います。また、指定校推薦入試の出願対応を行います。	指定校推薦校内選考を実施とその後のサポートを行います。出願必要書類の確認と願書作成等におけるサポート、出願先への確認等をきめ細かく指導します。	10月に引き続きのサポートや入試のための模擬面接練習を行います。また、オンライン面接試験の学生の支援を行います。	受験も最終の段階ですが、最後の一人が納得できる結果を出せるまでサポートを続けます。
就職	就活支援			

合格実績 ACADEMIC ACHIEVEMENTS

本校は大学付属の日本語学校として、きめ細かい進路指導を行っています。
指定校以外にも卒業生は自分の夢、将来の目標に向かって、日本全国の大学院、大学、専門学校に合格しています。

大学院

学校名	研究科名	学校名	研究科名
東京国際大学大学院	商学研究科(博士課程(前期))	拓殖大学大学院	国際協力学研究科(博士前期)
千葉大学大学院	融合理工学府(博士後期)	東京富士大学大学院	経営学研究科
東京芸術大学大学院	国際芸術創造研究科	日本体育大学大学院	体育学研究科
長崎大学大学院	保健学専攻(修士)	文化ファッション大学院大学	ファッションクリエイション専攻
広島大学大学院	人間社会学研究科	法政大学大学院	理工学研究科応用情報工学専攻(研修生)
青山学院大学大学院	会計プロフェッション研究科	明治大学大学院	理工学研究科／政治経済学研究科
城西国際大学大学院	国際アドミニストレーション研究科		

大学

学校名	学校名	学校名	学校名
東京国際大学	グローバルBiz専門職大学	帝京大学	日本経済大学
愛媛大学	国士舘大学	帝京平成大学	日本工業大学
岡山大学	駒澤大学	デジタルハリウッド大学	文化学園大学
埼玉大学	札幌国際大学	テンブル大学ジャパンキャンパス	文教大学
九州大学	産業能率大学	東海大学	北京語言大学東京校
青山学院大学	上智大学	東京経済大学	法政大学
亜細亜大学	湘南工科大学	東京工科大学	宮崎国際大学
足利大学	尚美学園大学	東京工芸大学	武蔵野大学
開智国際大学	聖学院大学	東京女子大学	明治大学
桜美林大学	西武文理大学	東京造形大学	山梨学院大学
大手前大学	専修大学	東京都市大学	立教大学
学習院女子大学(現:学習院大学)	洗足学園音楽大学	東京農業大学	立命館アジア太平洋大学
神奈川大学	高千穂大学	東京理科大学	レイクランド大学ジャパン
共栄大学	拓殖大学	東洋大学	麗澤大学
京都外国語大学	多摩美術大学	徳島文理大学	早稲田大学
京都精華大学	中央大学	新潟食糧農業大学	
共立女子大学	筑波学院大学(現:日本国際学園大学)	日本大学	

専門学校(一部)

- 日本工学院専門学校
- 文化服装学院
- 専門学校 ICS カレッジオブアーツ
- 専門学校東京製菓学校
- 辻調理師専門学校(大阪)
- 東京工科自動車大学校
- 東京ビューティーアート専門学校
- 尚美ミュージックカレッジ専門学校
- 東放学園
- トヨタ東京自動車大学校
- 日本菓子専門学校
- 専門学校日本ホテルスクール

指定校推薦 DESIGNATED SCHOOL RECOMMENDATION

指定校推薦入試とは、大学や専門学校と日本語学校の信頼関係に基づき、指定された日本語学校の学生のみが出願できる専願の入試制度です。
本校では校長推薦のもとに出願し、書類選考や面接などで選考が行われます。
東京国際大学をはじめ多くの教育機関から推薦枠をいただいております、一般入試と比べて合格の可能性が高い制度として、多くの学生が利用しています。

指定校推薦校の一部

東京国際大学 商学部／経済学部／言語コミュニケーション学部／国際関係学部／人間社会学部	東洋大学 国際学部
明治大学 国際日本学部	法政大学 キャリアデザイン学部／デザイン工学部
東京女子大学 現代教養学部	学習院大学 国際文化交流学部

専門学校の推薦枠も多数

大原簿記学校／日本電子専門学校／辻調理師専門学校 東京／JTBツーリズムビジネスカレッジ／専門学校東洋美術学校／東京アニメーションカレッジ専門学校／専門学校読売自動車大学校 他

合格実績及び指定校推薦の詳細は、本校ホームページにてご確認ください。



※2026年度入試の進学実績となります。



東京国際大学特別推薦

SPECIAL RECOMMENDATION

本校は東京国際大学の付属日本語学校として、特別推薦制度による進学が可能です。
本制度は、本校学生のみに出願資格が与えられ、校長推薦があれば原則として合格できる点が大きな特長です。
受験料免除や学費減免などの支援制度もあり、安心して大学生活をスタートできます。
また、学士取得者には編入学や大学院進学の道も開かれています。



特進ブリッジプログラム(BP)

東京国際大学への進学を全面的に支援します

東京国際大学特進ブリッジプログラムは、大学付属ならではの本校だけのユニークなプログラムで、東京国際大学に入学したいけれど、現在は日本語能力が大学に入学できるレベルにまで達していないという方に用意されたプログラムです。
東京国際大学を第一志望とし、学習意欲・志望動機・問題意識が優れている学生を、本校が責任持って日本語能力を伸ばし、東京国際大学に全員合格を目指します。

付属日本語学校で得られる特典

BP入学特待奨学金

- 入学時にEJU日本語270点以上またはN1合格者は、本校入学金を免除します。
- 入学時にEJU日本語240点以上またはN2合格者は、本校入学金(50,000円)半額を免除します。
- 入学時にEJU日本語220点以上またはN3合格者は、本校入学金(50,000円)半額を免除します。
この金額は、後日、東京国際大学の入学手続きが完了した時点で返金されます。

学習奨励費

- 本校在学時に行われるJLPT試験の受験料を全額支給します(最大3回)。
 - 基礎科目(英語、数学、総合科目、物理、化学、生物)の中から1科目の受講料を支給します。
- ※学習奨励費はBP終了時に授与します。

東京国際大学への飛び級制度

東京国際大学の2期入試の期日までに日本語能力がN2以上に達した場合は、日本語学校の課程の途中であっても東京国際大学への進学が可能です。つまり、本人の努力次第で「日本語学校+大学」の留学期間が短縮でき、授業料・生活費等の費用も節約できることとなります。

東京国際大学へ進学する際に得られる特典

本校の学生が東京国際大学に進学すると以下の経費支援(特典)が授与されます。

授業料等減免

	商	経済・言語コミュニケーション・国際関係・人間社会
入学検定料	免除(Web出願処理費用は徴収)	免除(Web出願処理費用は徴収)
入学金	半額免除	半額免除
授業料	4年間に亘り各学期の授業料の30%を減免	入学時春学期の授業料を免除
施設費	入学時春学期の施設費を免除	入学時春学期の施設費を免除

※2026年度入試で商学部に進学した場合、4年間で130万円減免されます。

進学奨励奨学金

- 東京国際大学に入学した学生の中から4名に、霞会(東京国際大学同窓会)奨学金10万円が支給されます。

付属日本語学校推薦入試

大学入学までにN2合格または合格見込みがあれば受験できます！

進学先を決める中で東京国際大学を選んだ学生には、『外国人留学生入試』受験の他に『付属日本語学校推薦入試』の制度を利用できます。付属推薦は、一般の外国人留学生入試よりも入学できる確率が断然高まりますので、本校に入学した学生にだけ与えられるこの特権をぜひ利用してください。

付属日本語学校推薦入試の大きな特徴として、1期入試と同時期に行われる『外国人留学生入試』では“N2以上（JLPT）に合格していること”が受験条件として課されていますが、本校の学生においては1期入試の時点では未だN2に合格していなくても“大学入学時までにN2相当以上に達する見込みである”と本校の教員から証明を受けることで出願することができます。

また、1期入試時点で当校校長からの推薦書が得られない場合でも、もう1回2月に2期入試が用意されていて更にチャンスがあることも大きな特徴です。一般受験生は年に1回の外国人留学生入試しかないところ、本校学生には2回もチャンスがあるのです。

東京国際大学へ進学する際に得られる特典

本校の学生が東京国際大学に進学すると以下の経費支援(特典)が授与されます。

授業料等減免

	商	経済・言語コミュニケーション・国際関係・人間社会
入学検定料	免除(Web出願処理費用は徴収)	免除(Web出願処理費用は徴収)
入学金	半額免除	半額免除
授業料	4年間に亘り各学期の授業料の30%を減免	入学時春学期の授業料を免除
施設費	入学時春学期の施設費を免除	入学時春学期の施設費を免除

※2026年度入試で商学部に進学した場合、4年間で130万円減免されます。

進学奨励奨学金

●東京国際大学に入学した学生の中から4名に、霞会(東京国際大学同窓会)奨学金10万円が支給されます。

付属日本語学校推薦入試：学士入学(3年次)・編入学(2年次)

母国で既に大学を卒業した方でも日本の大学で学ぶことができます。

東京国際大学の学士入学(3年次編入)は、既卒大学で修得した単位を科目対科目の個別認定ではなく一括認定(62単位)しますので、既卒大学の学部系統に拠ることなく、東京国際大学の希望の学部(自身の学位と異なる学問分野の学部)に編入できます。

付属日本語学校推薦入試：大学院進学

既卒大学・学部での専攻分野における研究能力を高めたい方や、高度の専門性が求められる職業に就くための能力を身につけたい方など、更に深く学びたい方には、大学院進学をおすすめします。

東京国際大学大学院進学の場合は、入試前の段階から専攻分野の教授と連絡をとり、研究テーマの選定や、入試に関することなどの相談が可能です。

EVENT

行事・イベント

日本を知る 仲間と楽しむ

東京国際大学付属日本語学校では、さまざまな日本の文化に触れることでより深く日本を知ってもらおうと、年間を通じて多くのアクティビティを行なっています。学生は、日本文化を知るとともに、勉強の合い間の楽しみとして好評いただいております。



- 校外学習（川越）
- クラブ活動・クラブ活動体験
- 社会見学（能楽・歌舞伎）
- 七夕笹飾り
- 北海道ホームステイ
- 東京国際大学大学祭参加
- 留学生日本語スピーチコンテスト出場（東京国際大学大学祭）
- 大相撲トーナメント観戦
- 卒業お茶会 など

CLUB

クラブ活動

日本の文化に触れる

授業の他に様々な角度から日本の伝統文化や習慣を学んでいただくために、課外授業を設置しております。日本に対して持つ色々なイメージを実際に体験し身につけて、新たな発見をしてください。



クラブ活動は、開講時期や授業時間、講師の都合等により、参加できない場合があります。

CAMPUS

キャンパス設備

校舎内のどこでもインターネットにつながるWi-Fi環境や、校内には図書室・PCルーム、自習コーナーも設置され、授業を行っていない時間帯には教室もいつでも自習用として使用できます。



校舎玄関



1階ロビー



アメニティ



教室



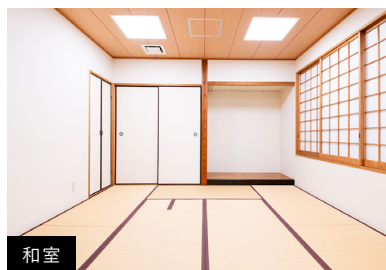
事務局



図書室・PCルーム



救護室



和室



テラス



LIFE in JAPAN

日本での暮らし

学生寮

提携する学生寮を複数用意し、一流企業による管理体制のもと安心して生活できます。全室個室で家具やインターネット環境を完備し、食事や衛生面にも配慮。留学生と日本人学生が共に暮らすことで、日本語や生活習慣を自然に学びながら交流を深めることができます。

家賃・生活費

東京23区の家賃相場は、居住区や間取りによって大きく異なります。東京23区外(東京都下)や首都圏近郊のワンルーム家賃相場は、23区内よりかなり安めになります。



- 練馬区(東京):約6.4万円～
- 新宿区(東京):約9.6万円～
- 立川市・国分寺市・調布市(東京):6～8万円
- 大宮・浦和(埼玉):5～6万円

生活スタイルによって金額は変わってきますが、以下に住居費以外に掛かる1か月の生活費の目安をお知らせします。

食費

30,000円～40,000円(自炊中心)

光熱費

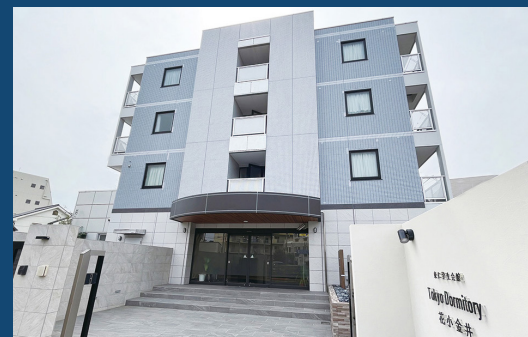
8,000円前後

その他(交通・娯楽・雑費)

20,000円～30,000円

アルバイトについて

入国時または出入国在留管理局にて資格外活動許可を申請できます。許可を受けると、1週間28時間以内のアルバイトが可能です。ただし、風俗営業関連など禁止されている業種がありますので、必ず事前に確認してください。
参考:2026年2月時点の東京都最低賃金は時給1,226円です。



募集要項

募集定員及び出願期間

課程	入学期	修学期間	入学定員	出願時期(目安)
日本語教育課程A(1年)	4月	1年	60名	前年度10月下旬まで
日本語教育課程A(1年6か月)	10月	1年6か月	60名	5月下旬まで
日本語教育課程A(1年9か月)	7月	1年9か月	20名	2月下旬まで
日本語教育課程B(1年)	4月	1年	20名	前年度10月下旬まで
日本語教育課程B(1年6か月)	10月	1年6か月	40名	5月下旬まで
日本語教育課程B(2年)	4月	2年	40名	前年度10月下旬まで
準備教育課程(1年)	4月	1年	20名	ご相談ください
準備教育課程(1年6か月)	10月	1年6か月	20名	ご相談ください

入学資格

入学時に後述の日本語能力を有する者、且つ、心身ともに健康で学習意欲があると認められた者。

日本語教育課程(A・B)

次の各号のいずれかに該当する者。

- 1 出身国において12年間の学校教育を修了した者。
- 2 出身国の教育制度において、高等教育機関(大学・短大・専門学校)への進学資格を有する者。

準備教育課程

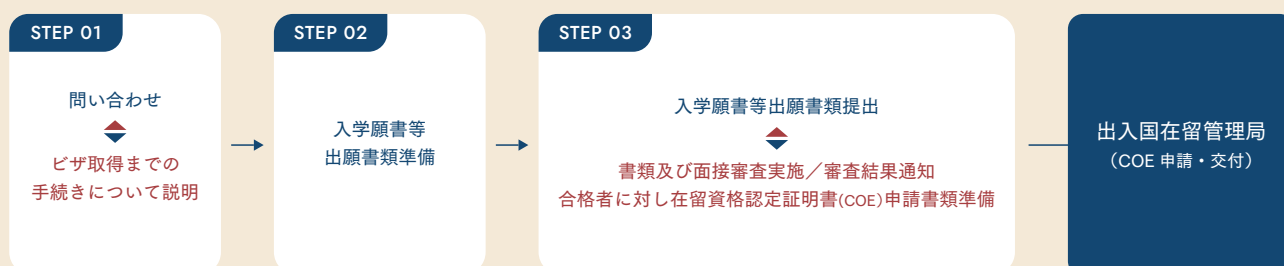
母国の10年または11年の教育を修了し、日本の高等教育機関(大学・短期大学・専修学校専門課程)への入学を志願する者。

※日本の高等教育機関への入学には12年間の学校教育を修了していることが必要です。本課程は12年の通常課程を修了していない方が対象となります。

選考方法

- 1 書類、及び面接を通じて日本語能力、支弁能力、本校の学習環境への適応能力、留学動機の明確さ等を確認させていただきます。
- 2 日本語能力を客観的に証明する日本語能力試験の合格証をご提出いただけない場合は、本校が指定するオンライン日本語試験と面接を通じて日本語能力を確認させていただきます。

入学までの流れ



入学条件として求める日本語能力

課程	日本語能力	
	漢字圏国学生	非漢字圏国学生
日本語教育課程A(1年)	CEFR A2(JLPT N4相当)以上	CEFR B1(JLPT N3相当)以上＋漢字650字程度習得
日本語教育課程A(1年6か月)	CEFR A1(JLPT N5相当)以上	CEFR A2(JLPT N4相当)以上＋漢字300字程度習得
日本語教育課程A(1年9か月)	CEFR A1(JLPT N5相当)以上	CEFR A2(JLPT N4相当)以上＋漢字300字程度習得
日本語教育課程B(1年)	CEFR A2(JLPT N4相当)以上	CEFR B1(JLPT N3相当)以上＋漢字650字程度習得
日本語教育課程B(1年6か月)	CEFR A1(JLPT N5相当)以上	CEFR A2(JLPT N4相当)以上＋漢字300字程度習得
日本語教育課程B(2年)	CEFR A1(JLPT N5相当)以上	CEFR A1(JLPT N5相当)以上＋漢字100字程度習得
準備教育課程(1年)	CEFR A2(JLPT N4相当)以上	CEFR B1(JLPT N3相当)以上＋漢字650字程度習得
準備教育課程(1年6か月)	CEFR A1(JLPT N5相当)以上	CEFR A2(JLPT N4相当)以上＋漢字300字程度習得

出願書類

申請者に関する情報

- 1 入学願書(本校所定)
- 2 履歴書(本校所定)
- 3 最終学歴の卒業証明書又は卒業見込証明書の原本
- 4 最終学校の成績証明書(全学年分)
- 5 パスポートコピー(所有の方のみ)
- 6 証明写真3枚、もしくは顔写真の画像データ(縦4cm×横3cm)
※3か月以内に撮影し、無修正のもの
- 7 日本語能力試験合格証(CEFR A1/A2(JLPT N5/N4相当)は2年以内、CEFR B1(JLPT N3)以上は受験時期不問。)
- 8 個人情報の取得及び取り扱いに関する同意書(本校所定)
- 9 誓約書(本校所定)
- 10 選考料20,000円

※出願書類の全部又は一部を提出いただきます。
 ※出願書類は国籍及び経費支弁者の状況等により異なりますので、詳細はスタッフまでお尋ねください。
 ※出願書類については日本語または英語のみになります。(可能な限り日本語で記載をお願いします。)

経費支弁者に関する情報

- 1 経費支弁書(本校所定、学費支払に関する書類)
- 2 保証書(本校所定)
- 3 預金残高証明書
- 4 直近1年間の納税証明書もしくは収入証明書
- 5 在職証明書(会社勤務)、
営業許可書もしくは会社の登記簿謄本(経営者)
- 6 入学希望者との関係立証書類(出生証明書、戸籍謄本等)
- 7 個人情報の取得及び取り扱いに関する同意書(本校所定)
- 8 誓約書(本校所定)
- 9 住民票(日本在住の場合)
- 10 在留カードの写し(日本在住の場合)

●入学希望者 ●日本語学校事務局(海外事務所)

STEP 04

学費納入
 ◆
 COE 交付の通知と学費請求書の送付
 学費納入確認
 在留資格認定証明書(COE)・入学許可書等の送付

STEP 05

在留資格認定証明書(COE)と
 必要書類をもって、
 居住国の日本大使館でビザ申込み

STEP 06

ビザ取得後
 入国・入学

学費

日本語教育課程A（1年）

納入方法	一括納入	分割納入	
時期	3月	〔初回〕3月	〔2回目〕8月
入学金	100,000円	100,000円	-
授業料	840,000円	420,000円	420,000円
施設維持費	40,000円	20,000円	20,000円
教材費	15,000円	15,000円	-
合計	995,000円	555,000円	440,000円

日本語教育課程A（1年6か月）

納入方法	一括納入	分割納入		
時期	〔初年度〕9月	〔初回〕9月	〔2回目〕翌年2月	〔3回目〕翌年8月
入学金	100,000円	100,000円	-	-
授業料	1,260,000円	420,000円	420,000円	420,000円
施設維持費	60,000円	20,000円	20,000円	20,000円
教材費	18,000円	18,000円	-	-
合計	1,438,000円	558,000円	440,000円	440,000円

日本語教育課程A（1年9か月）

納入方法	一括納入	分割納入			
時期	〔初年度〕6月	〔初回〕6月	〔2回目〕8月	〔3回目〕翌年2月	〔4回目〕翌年8月
入学金	100,000円	100,000円	-	-	-
授業料	1,470,000円	210,000円	420,000円	420,000円	420,000円
施設維持費	70,000円	10,000円	20,000円	20,000円	20,000円
教材費	20,000円	20,000円	-	-	-
合計	1,660,000円	340,000円	440,000円	440,000円	440,000円

日本語教育課程B（1年）

試験対策講座は選択科目で受講できます。詳細・受講料は7ページ参照。

納入方法	一括納入	分割納入	
時期	3月	〔初回〕3月	〔2回目〕8月
入学金	100,000円	100,000円	-
授業料	700,000円	350,000円	350,000円
施設維持費	40,000円	20,000円	20,000円
教材費	15,000円	15,000円	-
合計	855,000円	485,000円	370,000円

日本語教育課程B（1年6か月）

試験対策講座は選択科目で受講できます。詳細・受講料は7ページ参照。

納入方法	一括納入	分割納入		
時期	〔初年度〕9月	〔初回〕9月	〔2回目〕翌年2月	〔3回目〕翌年8月
入学金	100,000円	100,000円	-	-
授業料	1,050,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設維持費	60,000円	20,000円	20,000円	20,000円
教材費	18,000円	18,000円	-	-
合計	1,228,000円	488,000円	370,000円	370,000円

納入方法	一括納入	分割納入			
時期	〔初年度〕3月	〔初回〕6月	〔2回目〕8月	〔3回目〕翌年2月	〔4回目〕翌年8月
入学金	100,000円	100,000円	-	-	-
授業料	1,400,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設維持費	80,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
教材費	20,000円	20,000円	-	-	-
合計	1,600,000円	490,000円	370,000円	370,000円	370,000円

準備教育課程(1年)

納入方法	一括納入	分割納入	
時期	3月	〔初回〕3月	〔2回目〕8月
入学金	100,000円	100,000円	-
授業料	890,000円	470,000円	420,000円
施設維持費	40,000円	20,000円	20,000円
教材費	20,000円	20,000円	-
合計	1,050,000円	610,000円	440,000円

準備教育課程(1年6か月)

納入方法	一括納入	分割納入		
時期	〔初年度〕9月	〔初回〕9月	〔2回目〕翌年2月	〔3回目〕翌年8月
入学金	100,000円	100,000円	-	-
授業料	1,310,000円	420,000円	470,000円	420,000円
施設維持費	60,000円	20,000円	20,000円	20,000円
教材費	23,000円	23,000円	-	-
合計	1,493,000円	563,000円	490,000円	440,000円

短期聴講制度

期間	全日制費用(4月・10月入学)	全日制費用(1月・7月入学)	半日制費用(4月・10月入学)	半日制費用(1月・7月入学)
1か月	160,000円	160,000円	125,000円	125,000円
2か月	230,000円	200,000円	175,000円	150,000円
3か月	300,000円	250,000円	230,000円	195,000円

※入学金、選考料は不要です。

※受講料は、開講時一括納入とし、分納は認めません。また、途中で受講を取りやめた場合も返金しません。

※1月または7月から3ヶ月間の短期聴講後、4月または10月に正規課程へ進学する場合は、入学金の半額(50,000円)を免除します。

入学資格

- 以下の日本語能力があること。
・〔4月〕CEFRのA1(JLPTのN5相当)以上 ・〔7月・10月・1月〕CEFRのA2(JLPTのN4相当)以上
- 本校の学習環境への適応能力を有する者。

学費の支払いと返金について

- 学費の支払いに関する詳細は、在留資格認定証明書(COE)が交付された後に、海外事務所等より個別に案内します。
- 一度納入された学費は、原則として返金しません。但し、やむを得ない事由により入国前に来日を取り止めた等の入学辞退者には、検定料・入学金を除く授業料、施設維持費及び教材費を返還します。
- 本校卒業生、在校生の子弟等(親子、兄弟姉妹、甥姪、従兄弟、従姉妹)は、入学金(100,000円)全額を免除します。
※入学金の減免額は最大100,000円となります。
- 入学時に規程の日本語資格を有している方には進学奨励奨学金として入学金を全額或いは半額を免除します。
※詳細はお問い合わせください。
- 課外クラブ活動や校外イベントに任意に参加する場合は、別途費用を徴収する場合があります。

豊富な奨学金制度

奨学金の詳細は、
本校ホームページにて
ご確認ください。



OVERSEAS OFFICES 海外事務所等

台湾

台湾事務所 台湾台中市北区五權路381号
フリーダイヤル:(0800)024566 TEL:(04)2203-0333
FAX:(04)2208-6333 MOBILE:(0916)252-168 EMAIL:tilc@jpschool.com.tw LINE ID:0422030333

台北連絡所 台湾台北市中山區南京東路二段50號8樓
TEL:(02)2568-3033 FAX:(02)2568-2033 MOBILE:(0975)690-983 EMAIL:jenniferwa07@gmail.com

高雄連絡所 台湾高雄市前鎮守区二聖二路95号
TEL:(07)332-1123 MOBILE:(0983)401-225 EMAIL:Zxc0983401225@yahoo.com

台湾担当日本事務所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-23-23
EMAIL:3501103.k@gmail.com LINE ID:jpschool

韓国

韓国事務所 401, Goryeo B/D 91, Saemun-ro, Jongno-gu, Seoul, 03182 Korea
TEL:(02)732-8101 MOBILE:010-3868-9338 FAX:02-738-6645 EMAIL:hktijls@gmail.com KakaoTalk ID:kkmaij

マレーシア

ペナン事務所 40-42 SOLOK TAVOY, 10050 PENANG, MALAYSIA
TEL:+60-4 -2260701 MOBILE:+60-16-452-5911 EMAIL:datolimmeelee@gmail.com

クアラルンプール事務所 30, JALAN HELANG 7, BANDAR PUCHONG JAYA, 47170 PUCHONG, SELANGOR, MALAYSIA
MOBILE:+60-12-221-9053 EMAIL:serenatanbl@gmail.com

タイ

タイ事務所 842/59 SOL PRADOO 36, RAMA 3 ROAD, BANGKLO BANGKHOLAEM, BANGKOK, 10120 THAILAND
TEL:02-692-6166 FAX:02-688-5674 EMAIL:techin668@yahoo.com

パートナー事務所

ミャンマー J'Hesperus Company Limited
NO (32), ROOM 3G & 3K, 3 FLOOR, PYAE SONE CHAN THAR CONDO-1, OKE KYIN BU TAR YONE STREET, 13 WARD, HLAING
TSP, YANGON, MYANMAR
TEL:+95 9 40080 8300 EMAIL:jhesperusjla@gmail.com

ベトナム JELLYFISH Vietnam
Web 3 Tower, No.15, Lane 4, Duy Tan Street, Cau Giay Ward, Ha Noi City
TEL:+84 (0243) 7955.846 EMAIL:thuyduong@jellyfish-g.co.jp

マレーシア (ジョホール) EDU DOTCOM
NO. 86A, JALAN NB2 1/4, TAMAN NUSA BESTARI 2, 81300, SKUDAI, JOHOR, MALAYSIA
TEL:+6016-7023776 EMAIL:edudotcom@hotmail.co.jp

フィリピン JELLYFISH EDUCATION PHILIPPINES
902A PHILIPPINE STOCK EXCHANGE CENTER, EAST TOWER, EXCHANGE ROAD ORTIGAS CENTER, PASIG CITY 1605 PHILIPPINES
TEL:+63-2-8689-1928 EMAIL:jellyfishphils@gmail.com

インドネシア EVERGREEN JAPANESE COURSE
Jl.Kartini 2 No. 34B, Jakarta Pusat 10710 INDONESIA
TEL:+62-21-380-5995 EMAIL:kursus.evergreen@gmail.com

ネパール 株式会社インバウンドジャパン
東京都新宿区高田馬場4丁目9-14 ふみビル4F
TEL:03-5937-3395 EMAIL:support@inbound-j.com

スリランカ Akatsuki Japanese Language Institute
No.17 Pulinathalarama road, Magammana, Ragama, Magammana, Sri Lanka 11010
TEL:+94-112-930-311 EMAIL:info@akatsukisl.com

ロシア Corps of Executives Far East Russia(CEFER)
10 Nerchinskaya Str, Suit 202, Vladivostok, 690106 Russia
TEL:+7(423)243-99-15 EMAIL:cefer@cefer.ru

シンガポール IPPOZENSIN
170 WOODLANDS STREET 11 #12-57, SINGAPORE
TEL:+65-9004-1029 EMAIL:Mattchia96@gmail.com

東京国際大学 付属 **日本語学校**

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-23-23
TEL:03-3371-6121 FAX:03-3371-6125 <https://www.jpschool.ac.jp/>

